

低気圧に伴う降雨によるダム防災情報(第2報)(終報)

鳴子ダム管理所では、低気圧に伴う降雨により3月30日18時30分に「災害対策支部」を設置し、警戒に当たっておりましたが、流入量が100m³/sを下回り今後まとまった降雨の予想もないことから、3月31日3時00分に「災害対策支部(注意体制)」を解除しました。

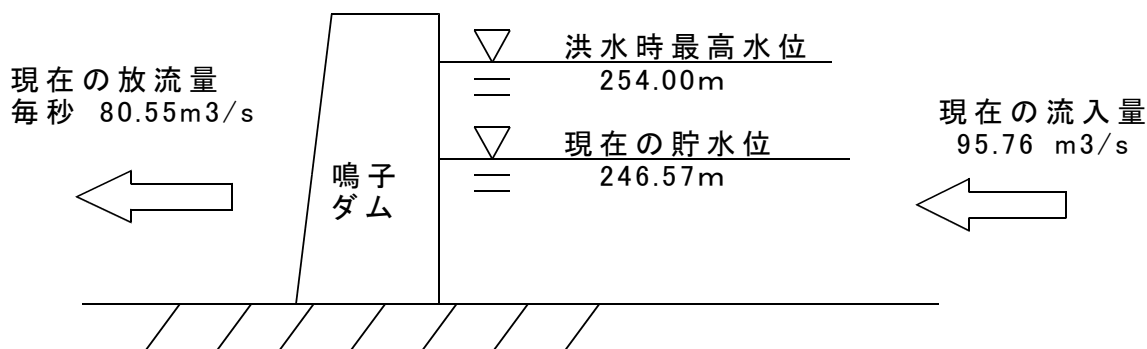
1. 鳴子ダムの体制

- ① 3月30日 18時30分「災害対策支部(注意体制)」発令
- ② 3月31日 3時00分「災害対策支部(注意体制)」解除

2. 鳴子ダムの現況

3月31日 3時00分現在の鳴子ダムのダム貯水池状況は以下のとおりです。

ダム貯水位	標高	246.57	メートル
ダム流入量	毎秒	95.76	立法メートル
ダム放流量	毎秒	80.55	立法メートル
貯水率		59	%
流域平均時間雨量		0	ミリメートル(3月31日 2時00分～3時00分)
流域平均累計雨量		29	ミリメートル



3. 今後の見通し

ダム流入量は引き続き減少する見込みですが、融雪によるダム放流を継続中ですので、引き続き下流河川の水位について十分に注意してください。

関連情報は鳴子ダムホームページ「リアルタイム情報」を参照してください。
<http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所
管理所長 松川 正彦
専門職 浅野 隆郎
TEL 0229-82-2341
FAX 0229-83-3855